

こども病院問題で“ウソ答弁”発覚

吉田市長に厳しく抗議！

日本共産党市議団は1月30日、こども病院人工島移転「検証」に関する抗議文と質問状を吉田市長あてに申し入れました(写真下)。

日本共産党は、こども病院の現地建て替え試算をゼネコンに聞いたとして勝手に1.5倍に上乘せした問題を追及してきましたが、これまでの議会答弁と食い違う証言などが連日報道されています(裏面に詳細)。

真相を市民に明らかにするとともに、新病院準備を凍結して、再検証を行うべきです。日本共産党は人工島移転阻止へさらにながらばります。

「最終的には検証・検討チームの判断でまとめた」 市長の無責任ぶり浮き彫りに

質問状に対する吉田市長名の回答が6日ありました。現地建て替え試算について意見を聞いたゼネコンの社名は「公表は困難」と拒否。その聞き取りの日付、経緯は昨年10月の議会答弁を訂正しました。

また委託したコンサルタント会社(pwc)の報告書を吉田市長は把握しておらず、「最終的には検証・検討チームの判断」だったと回答。市長の無責任ぶりが浮き彫りになりました。



日本共産党福岡市議団



議会で徹底調査を

議長に「特別委員会」設置を申し入れ

日本共産党市議団は2月4日、川口議長に対し「こども病院人工島移転『検証』に関する調査特別委員会設置」を申し入れました(写真上)。

こども病院問題で浮上している虚偽答弁や証拠隠ぺいの疑いを市議会として徹底調査すべきだと要求しました。5日の各派代表者会議で協議されましたが、結論は先送りされました。

1 市の説明は二転三転。 「問題なし」とうそづく吉田市長



「市長は責任を取れ」と市民から怒りの声が

「検証検討チーム」は2007年9月、費用試算として、現地建て替え128億円に比べて、87億円の人工島移転が望ましい、と説明していました。しかし、業務委託したコンサルタント会社(PwC)による現地建て替え試算をゼネコンに聞いたとして1.5倍に上乗せしていたことが昨年共産党の調査で判明、議会で追及しました。市側は言い逃れの答弁に終始しましたが、新たな証言が最近報道されています。それでも吉田市長は「問題ない」と開き直っていますが、これは許されません。

現地建て替え試算を上乗せした経緯について

<p>これまでの答弁・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月10日前後 ・チーム担当者 ・ゼネコン3社を訪問 ・資料をもとに現地も確認してもらった ・「1.5倍は見込むべき」との意見をもらった 	<p>共産党への回答(2/6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月中旬から8月上旬にかけて ・チームの課長と保健福祉局係員の2名 ・ゼネコン3社を訪問 ・資料を持って行った ・意見を口頭でもらった
<p>ゼネコン証言 (読売1/25) 「電話で聞かれ、答えただけ」「1.5倍など具体的な数字は言っていない」「報告書や図面も見せられていない。現地には行っておらず」</p>	

しかも、
証拠書類を
すでに破棄

2 共産党が追及した「検証偽装」 を裏付ける報道が次々



吉田市長は「ゼロから検証した」と言いますが、実は、前市長時代と同じ会社(PwC)に委託契約し、人工島移転先にありきの報告書を作らせていた――日本共産党は「検証偽装」だと追及してきました。報道各社も「移転ありきの疑念」などと指摘。その中で、PwC報告書を見たことがないという市長発言や、検証途中の07年9月からすでに市が人工島移転を前提に総務省と協議を始めていたことも報じられています。

このまま進めることは許されません
市民、医療専門家など第三者機関をつくり「再検証」を

子ども病院人工島移転ストップ!
市民と力をあわせてがんばります

日本共産党福岡市議団

シンポジウム 市民の命を守る
市立病院の役割って?

3月1日(日) 午後1時30分～

あいれふ10階大講堂 参加費300円

主催:子ども病院の人工島移転に反対する連絡会